

むすびに

龍を見ました。

夕陽を受けて真っ赤に染まる富士の上を、龍が飛翔していました。

一瞬、龍と見えたが、富士の上を北から南に流れて行く雲でした。

龍は、雲とともにあり、地上に恵みの雨を降らします。しかし、雲から離れ、独り空高く昇っていくと、足元を失い地に落ちてしまうといひます。

龍は雲とともにあるからこそ、その使命を果たすことができるのです。

住民の皆さまの幸せの実現が、まちづくりの目的です。住民の皆さま一人ひとりの心に寄り添い、共に生きていくことがまちづくりではないか。

龍に似た雲は、そう語っているかのようにでした。

「聖人は常の心無く、百姓の心を以て心と為す」（良く生きる人は、定まった心を持たず、人々の心を自分の心としている。）『老子』

今年は、三芳町にとって大切な節目の年です。大事な年だからこそ、心はいつも住民の皆さまと共にあり、歩んでいかなくてはならない。

このことを忘れず、住民の皆さまの心を我が心とし、一人ひとりの幸せを願って、まちづくりに励んでまいります。

住民の皆さま、並びに議員各位におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の令和2年度施政方針といたします。

—令和2年度施政方針より—



↑ 3月1日に行われた三芳町議会の冒頭で、町長が施政方針を表明しました。

施政方針の詳細は、町のホームページをご確認ください。



企業誘致

町に活力と賑わいを

着実に実を結んでいる企業誘致。更なる誘致には、適切な規模の産業用地の確保が欠かせません。都市計画マスタープランの土地利用構想により、みどり共生産業ゾーンの町道幹線3号線および通西地区の産業基盤整備を推進します。



花いっぱい運動

地域を花で華やかに

ボランティア団体の皆さまにより、進められてきた街角に花のある地域づくり。50周年記念事業の一環として、季節に応じた花苗を支給するなど、地域参加による「三芳町まちかど花いっぱい運動」を町全体に展開していきます。



藤久保地域拠点

基本計画の策定

老朽化が進む藤久保地区の文化行政ゾーンの公共施設。第5次総合計画等に基づき、住民の皆さまの意見を伺いながら、PFI等導入可能性調査を行い、施設整備や運営等の方針について検討し、基本計画を策定します。



災害対策

地域防災力の強化

今年度は各避難所での地域連携避難訓練開催、アレルギー対応液体ミルクの備蓄や防災士育成費用の助成などを行い、地域防災力を強化します。大規模災害時の広域的な応援・受援体制の構築のため、新たな防災協定の締結をめざします。



熱中症予防

夏の猛暑対策

気候変動による気温上昇により、年々高まる熱中症のリスク。新たに、県の補助を受けて小学校1・2年生と65歳以上の高齢者を対象に熱中症啓発チラシや気化熱効果のあるタオルを配布し、熱中症の予防を図ります。



みよし野菜

農業生産の充実確保

「みよし野菜」の消費拡大とイメージアップのため、ロゴマークの活用や大学とコラボしたレシピ開発を支援します。農業改善を目的とする機械・施設等の整備や廃マルチフィルムの処理費等の助成を実施し、農業生産の充実を図ります。



SDGsのまちづくり

誰一人取り残さない

「SDGs WEEK」と銘打って講演会などを開催。また、積極的に取組を推進している町内企業や団体を表彰する「三芳町SDGsアワード」を行います。受賞企業や団体で「みよしSDGsネットワーク」を設け、まちづくりを推進します。



ヘルメット購入

安全対策の充実

健康志向と環境への配慮などにより、注目される自転車利用。現在中学生を対象としている自転車用ヘルメット購入の助成を、新たに小学生以下と70歳以上の高齢者も対象にして、安全対策の充実に図ります。



道路整備

道路・橋を修繕

道路改良事業として、町道幹線19号線と22号線の道路拡幅工事を行います。また、町道幹線1号線のほか8路線の修繕工事や部分補修などを実施。橋梁関係では、砂川堀にかかる東永橋、永久保境橋の補修設計を行います。



スマートIC

新たな工事に着手

関越自動車道三芳スマートICのフル化および車種拡大については、主要アクセス道路の安全対策を進めています。新たに、NEXCO東日本などと連携して、町道幹線14号線の歩道橋工事に着手します。



上下水道

安心・安全な水道管理

下水道事業では、内水ハザードマップの更新、マンホール内の下水道管口の耐震化施工、第一中継ポンプ場の汚水ポンプのオーバーホールを実施。水道事業では、ポンプ槽の修繕、竹間沢地区の配水管の耐震化工事などを行います。



環境基盤の整備

かけがえのない地球

ごみの減量化を進めるため、4月から粗大ごみの有料化がスタートします。太陽光発電システムの設置や蓄電池設備補助も継続。事業者と基本協定を締結した旧清掃工場跡地は解体を行い、協議をすすめ、有効活用を図ります。



農業遺産

伝統農法を世界へ

世界に誇れる武蔵野の落ち葉堆肥農法を世界農業遺産へ申請します。町の観光拠点を農業センターに整備。ウォーキングコースの設置とともにマップを作成し、国内外に発信します。小学生を対象とした農業塾も継続して実施します。



魅力あるまちづくり

町政への住民参画

今年度は「みよし machi JAM」参加者等から成る（仮）みよし未来まちづくり委員会や市民政策アドバイザーから、50周年以降のまちづくりのアイデアなどの政策提言をいただき、未来の三芳町の創造に活かします。



空き家対策

適切な空き家管理

適切に管理されていない空き家が原因の問題が増加しています。（仮称）三芳町空家等対策計画の策定に着手するとともに、「三芳町特定居住物件等の改善に関する条例」を制定し、管理不全な建築物等の発生を防止します。

